

介護をする人が

いちばんケアされなきゃ

いけない人だと思う。

日本の介護、このままで大丈夫なの？
樋口先生、教えてください。

介護をする家族はどれくらい介護に時間をかけているか。和光大学が町田市で行った調査によると、介護にかかわる期間が5年以上の人は45.7%にもものぼります。介護する人にはお休みがありません。心配なのはなにより共倒れしてしまうこと。そうならないようにするには、どんな社会的なしくみが必要なのか。介護や年金、医療保険など、人間が人間らしく、幸福に生きるためのしくみを学ぶ。それを考えるのが「社会政策」という学問です。そのとき大切なのは、他人のことも自分のことのように考える姿勢です。授業では介護施設でのボランティアも体験します。実際に介護をする人と同じ気持ちになって、よりよい社会のしくみを想像してみる。その経験は世の中に出てから、大きな力になると思います。



今月は樋口弘夫先生の「社会政策ゼミ」でした。来月もお楽しみに。

ひとりを光らせる

和光大学

※現代人間学部 ※表現学部 ※経済経営学部